

3回生 必修教科「美術」授業のシラバス

教科名	美術	科目名		単位数	35	時間	
科目の目標	表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力を養う。 ○対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。 ○造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。 ○美術の創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を育み、感性を豊かにし、心豊かな生活を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。						
教科書	美術2・3（光村図書）		副教材	美術資料（秀学社）			

1 学習の目標

- （1）表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、美術の創造活動の喜びを味わい美術を愛好する心情を育てると同時に、美術の創造的な表現能力と鑑賞の能力を伸ばす。

2 学習の方法

- （1）予習について
○基本的には必要ありません。
- （2）授業について
○絵・彫刻・工芸・デザインなどの表現活動では、必要な道具や用具の準備について、事前に連絡します。
- （3）復習について
○定期考査前には教科書・ワークシート・資料集をよく復習しましょう。

〈学習アドバイス〉

- 定期考査を行います。授業や実習等から学んだことについて、教科書・ワークシート・資料集から出題します。
- 完成した作品等を題材ごとに設定した評価基準に基づき評価します。

3 評価について

（1）評価の観点

観 点	趣 旨
①知識・技能	対象や事象を捉える造形的な視点を理解し、表現方法を工夫して表すことができる。
②思考・判断・表現	自然の造形や美術作品などの造形的な美しさ、表現の工夫、機能美と働きなどについて独創的に考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練り、美術や美術文化に対する見方・感じ方を広げている。
③主体的に学習に取り組む態度	楽しく美術の活動に取り組み、創造活動の喜びを味わい、美術を愛好し、心豊かな生活を創造していこうとする。

（2）評価の方法（以下観点①～③は「（1）評価の観点」と対応する）

観 点	評価材料	定期考査	単元テスト	小テスト	実技実習	発言発表	作品	レポート	ノート	ワークシート	討議				
①知識・技能		◎			○		◎			○					
②思考・判断・表現		◎			○		◎			○					
③主体的に学習に取り組む態度		◎			○		◎			◎	○				

〈担当者からのメッセージ〉

- 授業中の創造的な活動の全てが評価の対象になります。主体的に活動に取り組み、創意工夫しながら制作する姿勢を大切にしてください。
- 自然や美術作品、文化遺産などに関心を持ち、親しみを持って鑑賞する姿勢を持つようにしてください。

■本校で目指す生徒像と身につける資質・能力

高い知性						豊かな人間性			健康な心身		郷土愛と国際性	
探求心		情報活用力		調整力		自律心	寛容さ	感受性	生命尊重の心	強くしなやかな心身	日本人としての誇り	多様性の尊重
関心・意欲	問題発見力	情報収集力	論理的思考力	共感的態度	意見交換・調整力							
A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M
課題に関心を持ち、問題発見・解決へ向けて意欲的に取り組むことができる。	生じている問題や今後生じうる問題について理解し、解決方法を提案することができる。	多様な視点から必要な情報を収集し、整理・分析して、意見に結びつけることができる。	事象や関係を把握し、多様な情報を整理・分析し、論理的に思考することができる。	相手の感情、思考、行動を理解し、共感を示すことができる。	他者の主張を理解し、自分の主張と調整し、互いに納得できる結論を得ることができる。	強い意志をもち、周囲に流されことなく、困難に立ち向かうことができる。	異なる価値観や多様な特質を理解し、尊重しながら、互いを高め合うことができる。	有形無形の美や自然に対し、その価値を素直に受け止めることができる。	命の尊さと健康の大切さを理解し、何より自他の生命を尊重することができる。	困難に負けない強い心と体をもち、あらゆる課題に対して柔軟な対応ができる。	郷土に対する深い理解と愛着をもち、日本のよさを伝えることができる。	世界の多様性を理解し、多面的・多角的な視野から他者と接することができる。

4 授業計画 ※【知識・技能】→①、【思考・判断・表現】→②、【主体的に学習に取り組む態度】→③

月	単元	学習内容	評価の観点	考查等	資質・能力
4	オリエンテーション(1)	美術の目標と授業内容について学習する。	③学習内容をしっかりと理解しようとしている。		AB
5	今の自分、これからの自分 カラー・ジュ：自画像の制作	○画家や生徒作品を鑑賞し、自画像を描くことによって自己の内面を表現できる楽しさに気づく。 ○今の自分の気持ちや表情をとらえながらアイデアスケッチをする。 ○白黒のバランスに気を配り、背景をつくる。 ○完成した作品を互いに鑑賞し合う。	③想像を膨らませイメージすることに関心を持つことができる。 ①②自分の世界をイメージして効果的な画面構成を考え制作している。 ①②自分をよく観察してアイデアスケッチをすすめている。 ②③個々の作品あらわされた世界感や表現の工夫を話し合うことができる。		ABI AFHI
6					
7	あかりがつくる空間 (9) オリジナルランプの制作	○教科書や資料集にある明かりのデザインを鑑賞し明かりの持つ性質や効果について学ぶ。 ○材料の特徴を理解し、カッティング効果と適切な配色を考慮しながらオリジナルランプの制作をする。 ○互いの作品のよさを感じながら鑑賞し合う。	③明かりが人の気持ちに与える効果について理解しようとしている。 ①②明かりがもたらす安らぎやぬくもりなどの感情を意識しながら発想を広げ、構想を練っている。 ①②色の違いによる光の透け方や漏れ方などを想像しながらデザインし、丁寧に作品制作を進めている。 ②③他者の作品を鑑賞し、それぞれの明かりのよさや雰囲気の違いを感じ取っている。	1学期期末考查 (P26-29 P38~P39 他)	ABI AFHI
8					
9					
10					
11	ゲルニカ、明日への願い(2)	○「ゲルニカ」が描かれた時代背景や、作者がどんな思いで制作したのかを学ぶ。 ○ピカソの時代の分類と制作技法、またその生涯について学ぶ。 ○互いに感じたことを話し合う。	②③ピカソの作品制作に込める想いと、時代背景を知ることから見えてくる、ピカソにとって生きるということとはどんなことだったのかを、想像することができる。 ②③作品やその生涯から受けた印象について話し合うことができる。		ABIL AFHI
12					
1	季節感のある暮らしを楽しむ(8) 創作和菓子のデザイン	○伝統工芸や伝統文化のよさや美しさを生かした和菓子のデザインを発想し、アイデア・スケッチにまとめる。 ○四季折々の季節感を取り入れた既存の和菓子やオリジナルの和菓子を樹脂粘土を用いて制作する。 ○互いの作品のよさを感じながら鑑賞し合う。	②③和菓子に見られる季節感や自然の美の魅力に気づこうとしている。 ②季節感や自然からのモチーフなどを使って発想を広げ、構想を練っている。 ①材料の特性を知り、より本物らしく見えるように工夫し、仕上げていく。 ②③個々の作品の和菓子らしさやよさを感じ取りながら、互いに鑑賞し合っている。		ABI AFHI
2	わかりやすく情報を伝える(7) ピクトグラムのデザイン	○ピクトグラムを鑑賞し、情報伝達と形や色彩との関係について学び、情報デザインの効果や条件について学ぶ。 ○日常生活で実際にあると便利なピクトグラムのデザインを考え、アイデア・スケッチにあわす。 ○見る側の視点を考慮しながら、形や配色を工夫し、PCソフトでピクトグラムを制作する。 ○互いの作品のよさを感じながら鑑賞し合う。	②③ピクトグラムが、ひと目で内容が伝わるようにデザインされていることを理解しようとしている。 ②見る側に立った視点を意識し、デザインや配色を工夫して作品の構想を練る。 ①内容が伝わるように形や色を工夫し、美しく仕上げていく。 ②③デザインの単純化された構成や、バランスの美しさを感じ取りながら互いの作品を鑑賞し合っている。	2学期期末考查 (P64-67 P54-55 他)	ABI AFHI
3					